2017
No.86
[2017年8月～11月号]
青山学院大学
〒150-8366
東京都渋谷区渋谷4-4-25
http://www.aoyama.ac.jp/

AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS

特 集

青山学院大学の進路・就職支援
2017年度の就職活動について

Topics

OECD（経済協力開発機構）国際シンポジウムを開催
公開シンポジウム「トランプ政権は世界に構造的な変化をもたらすか」を開催

AGU Lecture

経営学部 経営学科「組織において働く人々の研究」

経営学部 経営学科 山本ゼミ

Aoyama Gakuin since 1874

特集　青山学院大学の進路・就職支援

2017年度の就職活動について

多面的な支援で学生のベストな進路選択に尽力

今年度の就職をめぐる環境は、昨年度に引き続き企業側の採用意欲も活発です。それに加え、現在就職活動中の学生たちは、昨年度の学生たちが就職活動期間の短縮により短期決戦で苦労した経験などの情報から、早い段階からしっかり準備を進めている傾向が見られます。

本学の就職支援体制は、年間400回以上もの就職支援行事の開催、本学独自の進路・就職支援システム「Web Ash」による情報提供、キャリアカウンセラーによる個別相談などを柱とし、学生一人一人が納得のいく進路選択につながるよう努めています。学内での説明会開催を希望してくださる企業も多く、年間約1,400社もの企業説明会が開催されています。さらに、学生と企業がお互いを知る良い機会であるインターンシップも、積極的に支援しています。

また、本学の就職支援の特色や強みとして、卒業生でつくる校友会「在校生就職支援委員会」によるグループディスカッション対策や模擬面接会の実施など、OB・OGの手厚いサポートが挙げられます。

安田 洋史 就職部長（経営学部教授）

■2018年・2019年卒業予定者の就職活動の流れ

		就職活動の流れ	青山キャンパスの主な行事予定	相模原キャンパスの主な行事予定
3年生（2019年卒業予定者）	4月	「Web Ash」進路希望の登録 PICK UP	**第1回就職ガイダンス** 公務員試験ガイダンス&提携学外講座説明会	**進路・就職オリエンテーション** 公務員試験ガイダンス&提携学外講座説明会
	5月	インターンシップ準備開始	**インターンシップガイダンス** 業界研究セミナー	**インターンシップガイダンス** インターンシップ対策シリーズ（5～7月） 応募書類の作成方法 面接・グループディスカッション対策 業界・企業研究、ビジネスマナー等
	6月	**就職情報サイトプレオープン（6月）** 夏期インターンシップ申し込み	**就活基本講座①（6月コース）** PICK UP U・Iターン就職ガイダンス、相談会 PICK UP	
	7月	インターンシップ選考	インターンシップマナー講座	
	8月	**夏期インターンシップ（8～9月）**		
	9月		夏期集中筆記試験（SPI3）対策 **第2回就職ガイダンス**	**就職ガイダンス〈スタート編〉**
	10月	就職活動準備 自己分析 エントリーシート・履歴書対策 仕事・職種・業界・企業研究 筆記試験対策 ビジネスマナー 面接対策 グループディスカッション対策	**就活基本講座②（10月コース）** PICK UP 公務員学内業務説明会（10～12月） 公立学校教員採用試験対策セミナー	**選考対策シリーズ（10～12月）** PICK UP 自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策 エントリーシート作成、面接・グループディスカッション講座 筆記試験模試　等
	11月		学内OB・OG訪問 SPI3模擬試験	OB・OGによる業界研究会 業界研究セミナー メイクアップ&身だしなみセミナー
	12月	春期インターンシップ申し込み	**就活基本講座（12月、応用コース）** PICK UP 私立小中高教員採用試験対策セミナー	**学部別就職セミナー** 他大学合同模擬グループ面接・グループディスカッション キャリアチューターによる進路・就職相談会
4年生（2018年卒業予定者）	1月	インターンシップ選考	U・Iターン就職相談会 PICK UP	**学部・学科別就職ガイダンス** **選考対策シリーズ〈確認編〉（1～2月）** PICK UP OB・OGによる模擬面接（1～3月）
	2月	**春期インターンシップ（2月）**	**第3回就職ガイダンス**	**就職ガイダンス〈本番編〉** 業界研究セミナー
	3月	**企業の採用広報活動開始（3月）** **就職情報サイトオープン** 就職活動本番 エントリー 企業説明会参加 エントリーシート・履歴書提出 筆記試験・テストセンター受験 面接・グループディスカッション	**学内企業説明会** PICK UP	**学内企業セミナー** PICK UP 公務員試験直前説明会
	4月～5月		**学内企業説明会（毎月実施）** PICK UP 公務員試験直前ガイダンス 公立学校教員採用試験学内説明会	面接対策セミナー
	6月	**企業の採用選考活動開始（6月）** 大手企業を中心とした面接 内々定	**学内企業説明会** PICK UP	面接対策セミナー
	7月～9月	一部の企業の二次募集 中堅・中小企業を中心とした採用	**学内企業説明会（毎月実施）** PICK UP 今から始める就活 求人紹介セミナー	**学内企業セミナー** PICK UP 公務員試験対策模擬面接
	10月以降	**正式内定日、内定式（10月）** 一部の企業の追加募集 中堅・中小企業を中心とした採用 大学に「進路届」を提出	**学内企業説明会・選考会（2月まで毎月実施）** ハローワーク利用ガイダンスと登録会 求人紹介セミナー これからの就活について（1～2月）	

※行事は変更の可能性があります（2017年7月現在）

■首都圏在住3年生保証人対象 就職説明会報告

5月27日（土）から3週連続で、首都圏在住で3年生の保証人の方を対象に就職説明会を開催しました。第一部では最近の進路状況と、本学の進路・就職支援の取り組みについてご報告しました。2016年度は進路決定率が全学部で93.8%と好調であること、就職者率は85.4%で、文部科学省・厚生労働省の調査による卒業生全体に占める就職者の割合の72.9%と比べて極めて高いことをご説明し、就職実績を支える年間400回を超える豊富な就活講座や、マンツーマンでの個別相談、独自の就職システムなど、本学の充実したサポート体制をご理解いただきました。

第二部では就職情報サイト「マイナビ」編集長の吉本隆男氏より、「就職活動の“今”を知る」と題して、ご講演いただきました。特に、ありがちな「過保護・過干渉・無関心」に注意するよう具体的な例を挙げてのアドバイスには、現在の就職活動が昔とは様変わりしている現状を知り、親としての心構えがよく分かったと、アンケート結果からも好評をいただきました。

その後は希望者に、進路・就職センターの職員が個別相談を実施しました。

本説明会は大学後援会事業として開催されており、全国18カ所で開催の「ペアレンツウィークエンド」（地区父母懇談会）でも同様に就職説明を行いました。

なお2016年度卒業生の就職状況データについては、P.5にも掲載しております。また本学ウェブサイトでも現在公開中です。

マイナビ編集長の吉本隆男氏直伝
保護者の就活心得 ― 気を付けるべき7カ条

① 今どきの就活環境を知らないで口出しする
② アドバイスのつもりでの“押しつけ”
③ 無神経な「まだ」「もう」という言葉
④ 親の価値観の押しつけ（大企業にこだわる）
⑤ 遠慮して就職活動のことを質問しない
⑥ 安易な逃避の手助け
⑦ 必要以上に世話を焼く

PICK UP

青山キャンパス、
相模原キャンパスでは、
さまざまな就職支援を
行っています。
その一部をご紹介します。

就活基本講座／選考対策シリーズ

就職活動とインターンシップの基本対策ができます。年間3回実施予定。筆記試験対策、自己分析、エントリーシート対策、業界・シゴト研究方法、ビジネスマナー、面接対策、模擬面接など充実のラインナップです。

「Web Ash」（進路・就職支援システム）

「Web Ash（ウェブアッシュ）」では、年間約5,000件の求人のほか、インターンシップ情報、会社説明会情報、OB・OG情報など、本学独自の情報を提供しています。過去の入社試験情報も累積しています。

学内企業説明会／学内企業セミナー

企業の人事・採用担当者を大学に招いて、新卒採用のための企業説明会を行います。本学の採用実績のある企業や業界トップ企業など、年間に約1,400社、学生約45,000名が参加する一大イベントです。

U・Iターン就職

「U・Iターン就職ガイダンス」を6月に、各自治体の担当者を招いた「就職相談会」を年2回開催して、地元や首都圏以外への就職を支援しています。資料室には全国各地の就職イベントの掲示コーナーもあります。

個別相談

年間11,000件以上、学生の半数近くが個別相談を利用。一人一人が納得のいく進路を実現するための支援をしています。エントリーシート対策、業界研究方法、模擬面接、今何をすべきかなど、幅広く応じています。

就職レポート

いつでも相談できる環境が心強かったです

2年生の終わり、就職活動の概要を教えていただこうと、初めて進路・就職センターへ個別相談に伺いました。3年生の6月頃から就職活動が本格的に始まると、進め方に迷うたび相談に行き、キャリアカウンセラーからアドバイスをいただきました。自分の行っている就職活動への不安が大きくなったとき、「就職活動には明確な物差しがないから、不安になるのは当たり前」と励ましていただいたおかげで、悲観的にならずに活動を続けることができました。困ったとき、いつでも相談に乗っていただける環境が整っていることは、非常に心強かったです。面接対策としては、想定問答集のノートを作りました。文字に起こすことで足りない点に気付くことができ、話の展開をより分かりやすく改善できるため、大変有効でした。

佐藤 みなみ さん　**ゼネコン(総合職)内々定**

文学部 日本文学科4年　神奈川県立希望ケ丘高等学校出身

就職活動に関する主なスケジュール

3年
- [4月] 就職ガイダンス参加
- [5月] 学内業界研究セミナー参加
- [6月] 学内就活基本講座参加開始
- [1月] 1dayインターンシップ参加開始
- [2月] 筆記試験対策、OB・OG訪問、業界・企業研究開始
- [3月] 学内企業説明会・会社説明会参加、筆記試験(SPI)受験

4年
- [4月～] エントリーシート提出、面接

模擬面接は本番の面接でも非常に役立ちました

就職活動は3年生の4月、進路・就職課のセミナーに参加してスタートしました。IT業界志望でしたが、さまざまな業界を知るため複数のインターンシップに参加しました。中でも夏休みを利用して5日間のインターンシップに参加した企業は、「自分に合っている」と感じました。幸いその企業の早期選考の対象になれたので、面接対策のために何度も進路・就職課に足を運びました。模擬面接で細かな所作の注意点などまで確認できたことは、本番の面接でも非常に役立ちました。いつも親身に相談に乗っていただいたので、友人たちにも「進路・就職課は行くべきだ」と言っていたほどです。私の就職活動からは、インターンシップに参加することと、進路・就職課を利用すること、この2つを強くおすすめしたいです。

山浦 光司 さん　**情報通信業(SE)内々定**

理工学部 情報テクノロジー学科4年　東京都立神代高等学校出身

就職活動に関する主なスケジュール

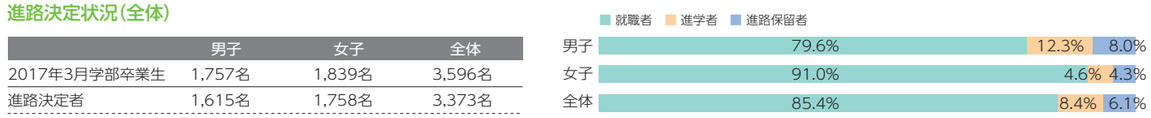
3年
- [4月] 進路・就職オリエンテーション参加
- [5月] 学内セミナー参加
- [6~10月] 4daysインターンシップ参加（1カ月に1回ほど開催・参加）
- [8月] 5daysインターンシップ参加
- [9月] 3daysインターンシップ参加、OB訪問
- [12月~] 早期選考の企業面接、筆記試験、適性検査、面接

2016年度　卒業生の進路・就職状況

※2017年5月1日現在

進路決定状況(全体)

	男子	女子	全体
2017年3月学部卒業生	1,757名	1,839名	3,596名
進路決定者	1,615名	1,758名	3,373名
就職者	1,399名	1,673名	3,072名
進学者	216名	85名	301名
進路保留者	141名	79名	220名
進路届未提出者	1名	2名	3名

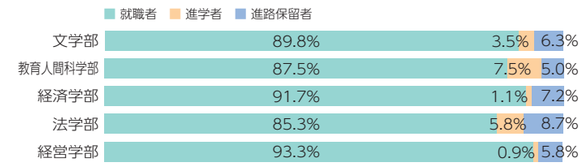


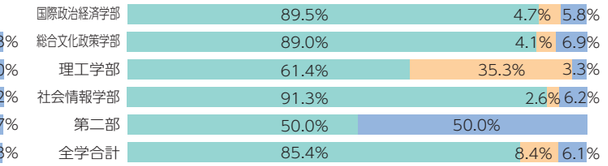
・「進路決定者」は「就職者」と「進学者」の合計
・「就職者」は新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者の合計
・「進学者」は本学大学院、国内他大学・大学院、海外大学・大学院、専門学校へ進学した学生の合計
・「進路保留者」は進学・留学準備者、各種試験準備者、ボランティア・主婦(主夫)、就職活動継続者などの合計

進路決定状況(学部別)

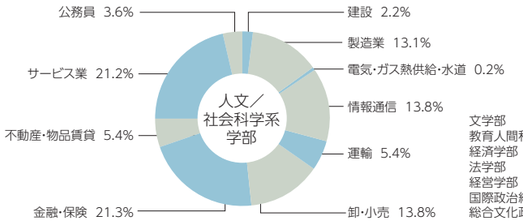
第二部は文・経営(いずれも募集停止)の合計

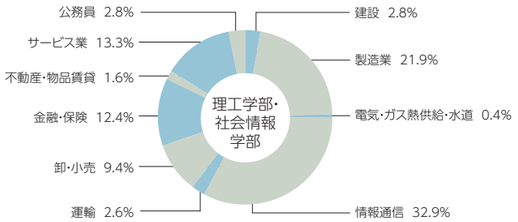
	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部	第二部	全学合計
2017年3月学部卒業生	679名	280名	460名	462名	451名	277名	246名	544名	195名	2名	3,596名
進路決定者	634名	266名	427名	421名	425名	261名	229名	526名	183名	1名	3,373名
就職者	610名	245名	422名	394名	421名	248名	219名	334名	178名	1名	3,072名
進学者	24名	21名	5名	27名	4名	13名	10名	192名	5名	0名	301名
進路保留者	43名	14名	33名	40名	26名	16名	17名	18名	12名	1名	220名
進路届未提出者	2名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名





業種別就職決定率





就職者数上位企業

人文／社会科学系学部・研究科

みずほフィナンシャルグループ	楽天
三菱東京UFJ銀行	東京海上日動火災保険
全日本空輸	三井住友海上火災保険
JTBグループ	第一生命保険
三井住友銀行	りそなグループ
日本郵政グループ	損害保険ジャパン日本興亜

理工学部・研究科（博士前期課程）

日本電気	日本発條
エヌ・ティ・ティ・データ	富士通
パナソニック	三井情報
本田技研工業	いすゞ自動車
スタンレー電気	SCSK
トヨタ自動車	KDDI

社会情報学部・研究科

SCSK	オリエントコーポレーション
みずほフィナンシャルグループ	KDDI
三井住友カード	大和証券グループ
ワークスアプリケーションズ	日本電気
アクセンチュア	富士機材
アメリカンファミリーライフアシュアランスカンパニーオブコロンバス	三井住友海上火災保険

教員採用(専任のみ)

幼稚園／11名(公立2名、私立9名)
小学校／27名(公立25名、私立2名)
中学校／10名(公立8名、私立2名)
高等学校／12名(公立5名、私立7名)

公務員採用

国家公務員／22名
地方公務員／82名

国家公務員：経済産業省、厚生労働省、財務省東京税関、総務省、農林水産省、法務省　他
都道府県：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、静岡県、山梨県、北海道、大分県
特別区(東京23区)：足立区、大田区、江東区、品川区、渋谷区、世田谷区、中野区、目黒区
市町村：宇都宮市、岡山市、帯広市、柏市、川崎市、木更津市、相模原市、静岡市、館林市、横浜市　他
警察官・消防官：警視庁、神奈川県警、熊本県警、静岡県警、栃木県警、東京消防庁

進路に関する満足度

進路・就職活動の成果についての満足度を5段階(満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満)で調査したところ、青山キャンパス(人文／社会科学系学部)に通う学生の81.7%が「満足・ほぼ満足」と回答。また、進路・就職センターの利用率は全体で58.8%で、特に個別相談、学内企業説明会、進路・就職支援システム「Web Ash」の利用が、どの学部でも多いことが目立ちました。支援体制に対する満足度(5段階評価で「満足・ほぼ満足」と回答)はセンター利用者全体の76.6%でした。

一方、相模原キャンパス(理工学部・社会情報学部)では、84.6%の学生が自身の進路について「満足・ほぼ満足」と回答。進路・就職支援部署の利用率は全体で60.7%(相模原キャンパス進路・就職課:52.1%、青山キャンパス進路・就職センター:2.2%、両方とも:6.4%)で、特にエントリーシート添削、模擬面接などを含む進路・就職に関する個別相談の利用が多く見られました。支援体制に対する満足度は80.0%で、進路・就職支援部署を利用した学生の進路満足度は、利用しなかった学生よりも高く(利用者:87.1%、非利用者:80.7%)、進路・就職支援部署の利用と進路満足度の相関関係がうかがえる結果となりました。

OECD（経済協力開発機構）国際シンポジウムを開催

OECD（経済協力開発機構）のCRP（Co-operative Research Programme）〈共同代表：松本茂本学教授、大阪大学大学院 大槻恒裕教授〉と青山学院大学経済研究所の特別推進研究プロジェクト（代表：藤村学本学教授）の助成金を得て、国際シンポジウムを開催しました。

食品属性にはさまざまなものがありますが、その中には購買時に消費者が知ることのできない「信頼属性」と呼ばれるものが含まれています。例えば、「この食品が環境や人権に配慮して生産された食品である」と主張されても、消費者はそれを店頭で確認することはできません。しかし、これまでの研究結果は、そうした信頼属性に対する消費者の要望がとても強いことを繰り返し指摘しています。世界各国から著名な研究者15名をシンポジウムに招聘し、各国がどのような取り組みを行っているかご紹介いただきました。最終日には、一般社団法人 国際栄養食品協会の天ケ瀬晴信理事長による基調講演も行われました。成果物は今秋に米国のCRC Press（Taylor & Francis Group）より出版される予定です。

2017年5月18日（木）～20日（土）　青山キャンパス14号館　第10会議室にて

（経済学部教授　松本 茂　記）

参加国名	機関名
	OECD
Australia	Queensland University of Technology
Czech Republic	Institute of Agricultural Economics and Information
Japan	Aoyama Gakuin University, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, The General Incorporated Association of International Foods & Nutrition, University of Toyama, University of Tsukuba, Osaka University, Waseda University
Korea	Korea University
New Zealand	University of Otago
Norway	Oslo and Akershus University College of Applied Sciences
Spain	Department of Biotechnology, INIA, Ministry of Science and Innovation, Spain, Universitat Autònoma de Barcelona
UK	Newcastle University
USA	New Mexico State University, New York University, North Carolina State University, Rutgers University, The University of Texas Rio Grande Valley

国際平和協力法25周年記念公開シンポジウム「国際平和協力の現状と課題―世界の笑顔のために―」を開催 ―青山学院大学・内閣府国際平和協力本部事務局（PKO事務局）共催

冒頭に、安倍晋三内閣総理大臣がビデオで、世界はどの国も一国だけで平和を守ることができない今、一層国際平和に協力したいとのメッセージを寄せました。また、ジャン=ピエール・ラクロワ氏（国連PKO局長）は、同じくビデオで日本の資金面、要員面における持続的な支援を評価した上で、日本の一層の協力を求めました。さらに明石康氏（元国連事務次長）は、紛争の変質とそれに伴うPKOの変容を踏まえて、日本がどのような国際的な「責務」を果たすべきかを考えなければならないと呼びかけました。

その後、宮島昭夫氏（内閣府国際平和協力本部事務局長）、明石康氏、折木良一氏（元防衛省統合幕僚長）、長谷川祐弘氏（元国連東ティモール支援団事務総長特別代表）、岡村善文氏（外務省アフリカ開発会議・国連安保理改革・人権担当大使）、星野俊也氏（大阪大学大学院教授）、福島安紀子（本学教授）によるパネル討論が行われました。最後に、参加した青学生に対し、小林綾子氏（内閣府国際平和協力研究員）は「私たち若い世代は、皆が目的意識を持てる世界を創ろう」と呼びかけました。質疑応答では本学の山本綾乃さん（国際政治経済学部国際政治学科4年）と堀池秀さん（国際政治経済学部国際コミュニケーション学科3年）が諸外国との連携や一般の理解について質問し、議論が行われて閉会しました。

2017年6月28日（水）　青山キャンパス17号館　本多記念国際会議場にて

（地球社会共生学部教授　福島 安紀子　記）

公開シンポジウム「トランプ政権は世界に構造的な変化をもたらすか」を開催 ―青山学院大学主催

トランプ政権誕生から100日以上が経ったが、この間アメリカでは何が起こったのか、世界はどう対応したのかについて、アメリカ政治、世界への影響、日米関係という3つの視点から、それぞれの分野で日本を代表する専門家・論客である宇野重規氏（東京大学教授）、中山俊宏氏（慶應義塾大学教授）、細谷雄一氏（慶應義塾大学教授）、植木（川勝）千可子氏（早稲田大学大学院教授）、会田弘継（本学教授）という豪華メンバーが登壇し、さらに司会を大芝亮、押村高（共に本学教授）が務め、250名余の聴衆がお集まりの中、3時間にわたり白熱した議論が展開されました。

パネリストから、トランプ氏の当選自体がアメリカ有権者の態度の変化の結果であること、トランプ現象の理解にはむしろ共和党のトランプ氏支持者や政策サークルの特質に注目する必要があること、ヒラリー・クリントン氏をはじめ、これまでの政治家リーダーに対する不信には抜きがたいものがあること、トランプ氏による安全保障と貿易をセットにした再交渉の申し入れに対し、日本に強かな戦略的対応が必要であること、などが指摘されました。後半は、聴衆の方々からあがった多くの質問に、パネリストが丁寧に回答し、最後まで充実したシンポジウムとなりました。

2017年5月10日（水）　青山キャンパス17号館　本多記念国際会議場にて

（国際・広報担当副学長、国際政治経済学部教授　押村 高　記）

ベン・クリスタル氏講演会「シェイクスピアの聞いていたシェイクスピア」を開催

文学部英米文学科英文学会主催により、イギリスの著名な俳優、作家、プロデューサーであるベン・クリスタル（Ben Crystal）氏の講演会を開催しました。クリスタル氏は、父親で高名な言語学者ディヴィッド・クリスタル氏と共同で、シェイクスピア時代の発音について研究してきました。そして何世紀にもわたる英語の発音の変化によって、シェイクスピアのセリフの掛詞やジョークの意味が、今では分からなくなってしまっている事例を多く発見してきました。

講演会には本学内外の聴衆が集まりました。400年前のシェイクスピアの劇や詩の、まさにシェイクスピアが語り、聞いていた「音」はどのような音だったのか。クリスタル氏は、オリジナルの発音（Original Pronunciation=OP）再現の手法や、OPを含む「発音」が俳優の演技に与える影響について、シェイクスピアの詩や演劇の一部を実際にOPで演じてみせながら、生き生きと語ってくれました。ロンドンのシェイクスピア・グローブ座などで上演を行うクリスタル氏の業績は、YouTubeでも見ることができます。

2017年5月9日（火）　青山キャンパス4号館　420教室にて

（文学部 英米文学科教授　トマス・ダブス　記）

公開トークショー「原晋に聞く 人材の育て方、育ち方」を開催 ―青山学院大学主催

「学生が主体的に取り組める工夫が大学の授業にも必要だと思います。指導者は新しいものを学生に伝えることができるよう、日々研鑽する必要があります」という大学の講義に対する問題提起から始まった前半の原晋監督（陸上競技部）の講演。監督自身、今春からスポーツマネジメントを究めるため大学院へ進学したこともあり、その姿勢は常に前向きです。昨今の陸上競技界の問題点として、とりわけ危惧しているのは男子マラソン。監督の目標は、社会人で活躍できる選手の育成にあり、「何が正しいことなのかを自分の頭で考えて行動すること」が重要であると語りました。後半のトークショーは、本学の卒業生でもある、女優で脚本家の近衛はなさんを進行役に、三木義一学長を交えて行われ、監督就任時から現在に至るまでの裏話などが飛び出し、参加者からの質疑にも応えるなど、終始和やかな雰囲気で進行しました。

2017年5月13日（土）　青山キャンパス17号館　本多記念国際会議場にて

TOPICS

国際コミュニケーション学科設立10周年記念イベント「国際コミュニケーションの学びと実践」を開催

国際政治経済学部国際コミュニケーション学科の設立10周年を記念したイベントを行いました。

開会挨拶にて内田達也学部長より3学科の位置付けが示されました。続く本名信行本学名誉教授の基調講演では、グローバル化社会では多様性への寛容性を高めるだけでなく、差異の媒介者・調整者となる能力が求められると結論付けました。

「OB・OGに聞く『国際コミュニケーションの学びと実践』」と題するセッションでは、卒業生から本学科の学びが職場でどう生かされているかについてのお話がありました。塚越洋二氏(メーカー)、風間梨那氏(医療)、上坂嵩氏(報道)、杉本恵理氏(ホテル)、石黒亮氏(国際協力)から、異文化間コミュニケーションが「他者から学び、己を知ること」といかに深い関係にあるかが語られました。

最後に狩野良規本学科教授が全体の振り返りとまとめを行いました。国際コミュニケーションは華やかな一面が注目されがちですが、その実践の背後にはたゆまぬ努力が伴っています。内田学部長が冒頭で示した国際コミュニケーションの位置付けは、それを土台とするものでありました。改めて礎としての国際コミュニケーションの重要性と、あらゆる分野への応用の可能性を確認するひとときとなりました。

2017年6月3日(土)　青山キャンパス14号館　大会議室にて

(国際政治経済学部 国際コミュニケーション学科教授　猿橋 順子　記)

対東北学院大学総合定期戦報告

2017年6月3日(土)から6月5日(月)までの3日間にわたり、第68回対東北学院大学総合定期戦が東北学院大学にて開催されました。

初日は11時から両校の吹奏楽バトントワリング部などにより、新しいコースとなった仙台市の中心街でパレードが行われ、多くの市民の目を引き付けました。それに先立って泉キャンパスグラウンドでラクロス(男子・女子)、七ヶ浜ではヨット競技が行われました。ラクロスはグラウンド全面を使用し、動きの速い展開で、緊張感のある試合となりました。

15時からは、土樋キャンパスのラーハウザー記念東北学院礼拝堂で開会式が執り行われました。両校のペナント交換がなされ、熱戦を誓い合いました。開会式後、東北学院大学学長・体育会長、本学副学長・学生部長が見守る中、力の入ったレスリングの試合が行われました。体育館では今年から実施されることとなったバドミントン(女子)が行われ、一進一退の攻防が続きながらも、本学が勝利を収めることができました。同時間には柔道も実施されましたが、惜しくも勝利することはできませんでした。

2日目は泉キャンパスでバレーボール(男子・女子)と硬式テニス(男子)が行われました。バレーボール(男子)は気迫のこもった試合となりましたが惜敗。今回より復活した硬式テニスはダブルス戦を実施、ライン際の攻防など、見応えのある試合となり本学が勝利しました。七ヶ浜では初日に続きヨット競技が行われ本学も奮闘しましたが、惜しくも敗戦となりました。土樋キャンパスの90周年記念館大ホールでは、吹奏楽バトントワリング部の交歓演奏会も行われました。今年は本学バトントワリング部と東北学院大学チアリーディングチームが合同で応援を披露し、会場を大いに盛り上げました。

最終日には応援団によるリーダー公開が行われ、閉会式をもって定期戦の幕を閉じました。

総合成績は本学が26点、東北学院大学が16点と4年ぶりに本学が勝利し、優勝盃を持ち帰ることができました。来年度は東北学院大学を本学に迎えて、さらに熱い戦いが繰り広げられることを願っています。

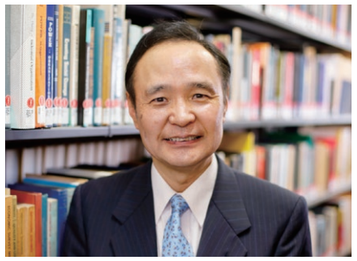
2017年度青山学院市区長会総会を開催

2017年6月6日(火)、本学出身の市区長会の総会が開催されました。12名のうち10名が参加した総会は、日光市の斎藤文夫市長の挨拶から始まりましたが、今年は本学院の理事長も参加し、各市区長と楽しい懇談の時を持ちました。市区長さんだけあって、皆さんお話が上手でしたが、学生時代は落語研究会に所属し、卒業後は四国放送でアナウンサーをされた徳島市の遠藤彰良市長の弁舌は、ひときわさわやかでした。また見事に病院経営を立て直した大和市の大木哲市長をはじめ、皆さん、多くの実績を残していらっしゃる市長さんたちで、さすがに、青学で学ばれた方々は素晴らしい、と改めて感じた一日でした。既に、本学はいくつかの市区と協定を結び、小・中学校の英語教育への協力をスタートさせています。今後も本学出身の市区長の方々と連携し、大学の研究が地域の発展により貢献できるようになりたいと願っています。　(学長　三木 義一　記)

市区長会　メンバー(五十音順)

北海道釧路市　蝦名 大也市長	岡山県総社市　片岡 聡一市長	栃木県日光市　斎藤 文夫市長
徳島県徳島市　遠藤 彰良市長	新潟県見附市　久住 時男市長	長崎県佐世保市　朝長 則男市長
神奈川県大和市　大木 哲市長	山口県下松市　国井 益雄市長	福岡県田川市　二場 公人市長
高知県高知市　岡﨑 誠也市長	東京都足立区　近藤 弥生区長	東京都墨田区　山本 亨区長

AGU Lecture 085



組織において働く人々の研究

山本 寛
経営学部 経営学科教授

本ゼミナール(ゼミ)では、人が働くことに関するすべてを研究対象としています。仕事をする上で重要になるリーダーシップやモチベーション、女性の活躍や非正規雇用の問題、就職活動(就活)における面接や採用など、研究テーマは多岐にわたります。

ゼミは3、4年生合同で行います。就活中の4年生は極力ゼミと関わるようにと伝えています。ゼミは、4年生にとっては、研究を深める貴重な場だからです。また、3年生にとっては手本となる先輩から多くのことを学ぶことができます。合宿や新入生歓迎コンパ、クリスマスパーティーなどもすべて2学年合同で行うので、皆仲が良いですね。

2年生のオリエンテーションで、自分が興味のある研究テーマを決めます。同じテーマを研究している先輩がアドバイザーになって、発表の進め方、パワーポイントの使い方などのアドバイスをします。初めは発表に慣れていない3年生も、ゼミでの経験を重ねるうち、冬頃には4年生にも劣らない発表ができるようになっています。

就活を意識して模擬面接を行うことも、ゼミの大きな特色です。面接を受けるのは3年生、面接官はお呼びする企業の人事担当者と私、そして就活が終わった4年生です。面接の経験が少ない学生が、いきなり就活での面接で実力を発揮することは難しいため、このような機会を設けています。面接を受ける学生は緊張でとても疲れてしまうようですが、本番の面接でも大変役に立つと好評です。さらに企業見学の実施やゼミに企業の方を招いてディスカッションを行うなど、学生時代から企業と関わり、社会人と接する機会を設けるようにしています。

ゼミではゼミ生の名前を呼ぶようにし、ワンオブゼムではなく「個人」として認識していることを伝えたいと思っています。私のゼミで目指していることは、「誰もが自分の個性を出しても皆が認めてくれる場」です。そういう環境をできるだけ早い段階から構築するために、学年を超えた関わりや、OB・OGとの交流なども行っているのです。

本学の卒業生は、企業の管理的立場で活躍する方が多くいます。人的資源管理は人事部だけが行うことではありません。リーダーシップの発揮や部下の評価は管理職の役目なので、その立場になった卒業生たちが「ゼミでの学びが生かされている」と言ってくれることもよくあります。ゼミ生たちには、社会に出てからも役立つ研究をさらに進めてもらいたいと思います。

山本ゼミ学生
山田 悠梨乃さん
経営学部
経営学科3年
東京都立武蔵高等学校出身

経営学部は簿記やマーケティングといったイメージが強く、人的資源管理は未知の分野でした。それでもアルバイトの経験を通して、組織における採用や人間関係についてより学んでみたいと思い、このゼミを選びました。2年生の時からゼミのOB・OG会などに参加して、皆仲が良くて和気あいあいとした雰囲気も良いなと思っていました。

ゼミでは既に数回、発表の機会がありました。私がテーマに選んだのは「人間関係」です。まず仮説を立て、根拠となるデータを集め、仮説が結論につながるよう、ペアを組んだゼミ生と相談しながら進めていきました。

先輩やOB・OGと仲良くなれるだけではなく、先生との距離も近く、さらに人的資源管理について深く掘り下げて学ぶことができるのが、山本先生のゼミならではの楽しさだと感じています。先輩の発表から学ぶことも多く、勉強になります。山本ゼミでの学びはどの業種でも生かすことができるので、将来に役立てていきたいと思っています。先生も穏やかな方で、ゼミの雰囲気も良いので、後輩たちにも山本ゼミで学ぶことを勧めています。

Information

夏期休業期間中の窓口案内　対象期間 8/3(木)～9/13(水)

原則以下の通り窓口を閉室します。
○ 8月6日(日)～8月12日(土)〈一斉休業期間〉
○ 8月16日(水)、8月23日(水)、8月30日(水)
○ 土曜日・日曜日・祝日
※以上の日程以外にも、部署により閉室する場合がありますので、本学ウェブサイトでご確認ください。9月14日(木)より平常通り開室します。

夏期休業期間中の窓口案内の詳細は　本学ウェブサイトをご覧ください。

2017年度 保証人の方対象説明会

本学では、大学後援会事業の一環として、在学生の保証人の皆さまに大学の近況をお伝えし、学生の皆さんの成績・進路・就職などについてのご相談やご意見を伺うために、経験豊かな大学教職員による説明会や個別相談などのイベントを開催しています。保証人の皆さまにより一層本学のことを知っていただく機会となっています。

キャンパス開催実施状況報告

1～3年生の保証人の皆さまを対象としたペアレンツウィークエンドは、5月27日～6月24日の土曜日に各キャンパスで開催しました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。学業・就職説明会では、各担当職員が詳細に説明し、さらに質問がある方は個別相談にご参加いただきました。1年生の保証人の方対象のキャンパス見学会では、パイプオルガンコンサート、ボランティア学生によるキャンパスツアーも盛況で、ご満足いただけたようです。

ペアレンツウィークエンド(地区父母懇談会)

6～7月に全国18カ所で開催しました。ご来場いただきありがとうございました。全体説明会・懇談会・個別相談を通して、保証人の皆さまと意見交換ができ、有意義な内容となりました。

問い合わせ先
庶務部庶務課　TEL：03-3409-8568
http://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/
※夏期休業期間中の事務取り扱いは本学ウェブサイトでご確認ください。

就職説明会

個別相談

キャンパス見学会

2017年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでさまざまなテーマの講座を用意して皆さまのご参加をお待ちしております。

青山キャンパス

9/16・10/14・10/21・11/11	土曜日	全4回	大使と語る（予定）
11/18～12/16	毎週土曜日	全5回	都市と芸術※

※渋谷区教育委員会後援

受 講 料　無料
詳細につきましては、本学ウェブサイトをご覧ください。
http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/
問い合わせ先　庶務部庶務課　公開講座担当　TEL：03-3409-7955

相模原キャンパス(市民大学青山学院大学コース)

10/14～11/11	毎週土曜日	全5回	“学際的な研究の可能性” ―社会を多面的視点で考える―

対　　象　原則として相模原市・座間市に在住か在勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)
申込期間　9月1日(金)～9月14日(木)
受 講 料　1,300円
問い合わせ先　さがまちコンソーシアム事務局　TEL：042-703-8550

大学学費 後期納付のご案内(学部)　※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

【納付期限】10月2日(月)

1)振込依頼書について
a. 2016年度以前入学生
4月中旬にお送りした学費振込依頼書の「B後期分」をご利用ください。なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月19日(水)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。
b. 2017年度入学生
①入学手続時に前期分の学費を納入された方
7月19日(水)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。
②入学手続時に前後期分の学費を一括納入された方
教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月19日(水)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

2)納付にあたって
入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を希望される場合は、学費振込依頼書と同封の案内文に記載されている注意書きに従って手続きしてください。

3)延納について
学生ポータルに掲載しています。

4)学費に関するご相談・お問い合わせ
振込依頼書裏面記載の《ご相談・お問い合わせ先》にご連絡ください。

2017年度後期学費一覧表(2014～2017年度入学生)　単位：円

学　部	金　額 2014～2015年度入学生	金　額 2016～2017年度入学生
文学部	391,500	406,500
教育人間科学部		
経済学部		
法学部		
経営学部		
国際政治経済学部	391,500	411,500
総合文化政策学部		406,500
理工学部	565,500	580,500
社会情報学部	478,500	493,500
地球社会共生学部		

○教職・各種資格課程を申請した方は別途課程料が加算されます。
○休学、留年、卒業延期、転部、転学部・学科、編入学、再入学をした方は、上記学費一覧表と異なる金額が適用される場合があります。

4年次において留年した学生の後期分学費納付について

4年次で留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。振込依頼書は10月18日(水)発送予定です。

【納付期限】11月10日(金)

1)前期分学費を所定の学費で納入した方
→後期の学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。
前期・通年科目申請単位数で、既に「年間所定の学費上限金額」に達しています。
そのため、後期科目申請単位数に関係なく、前期分・後期分とも所定の学費を適用します。

2)前期に申請単位計算学費で納入した方
→後期学費は、下記の計算式で算出した、単位計算学費となります。

単位計算学費=後期科目申請単位数×単位料

ただし、上記で算出した後期分の単位計算学費と前期納入済金額の合計が「年間所定の学費上限金額」に達した場合は、下記の計算式で算出した金額を適用します。

後期納入必要額=年間所定の学費上限金額―前期納入済額

問い合わせ先
振込依頼書再発行　青山キャンパス学費・奨学金課 TEL：03-3409-7945　相模原キャンパス学生生活課 TEL：042-759-6004
納入必要予定額の確認　庶務部経理課 TEL：03-3409-6479

第6回「情報の探索と表現」コンテスト 作品募集！

昨年のグランプリ受賞作品

青山学院大学図書館・青山学院女子短期大学図書館では、第6回「情報の探索と表現」コンテストを実施します。本学図書館で利用可能なオンラインデータベース「AFP World Academic Archive (AFP WAA)」、「朝日新聞記事データベース『聞蔵Ⅱビジュアル』」、「ジャパンナレッジLib」、「日経BP記事検索サービス」を活用して、あなたの「オリジナルの雑誌記事」を作成してコンテストに応募してください。雑誌や新聞の仕事、あるいは文章作成、英語などに関心のある方はぜひご参加ください。

応募テーマ
●個人部門(日本語区分／英語区分／フランス語区分)
●グループ部門(日本語区分／英語区分／フランス語区分)
「オリジナルの雑誌記事をつくろう！
～日本の知らない世界、世界の知らない日本～」
●英語見出し部門
「ニュースにオリジナルの英語見出しをつけよう！」

賞品
●iPad(AFP WAA提供)●映画DVDソフト20本セット(ネットアドバンス提供)●ロボット掃除機ルンバ(朝日新聞社提供)●オリジナル作品集、チェキ3台(富士ゼロックス提供)●図書カード　など多数予定

応募方法(作品提出方法)
大学図書館カウンターまたはメールで提出してください。応募の際は必ず「募集要項」をご確認ください。
8月上旬より図書館各館で配布および図書館ウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.agulin.aoyama.ac.jp/

応募期間
2017年10月1日(日)～10月25日(水)閉館10分前(メール最終受付21：30)まで

問い合わせ先
青山学院大学図書館本館(青山キャンパス)
TEL：03-3409-7833
青山学院大学万代記念図書館(相模原キャンパス)
TEL：042-759-6027

第24回 青山学院大学同窓祭

AOYAMA GREEN FESTIVAL 2017

2017年 **9月23日(土・祝)** 9:00～17:30 @青山キャンパス どなたでも無料でご入場いただけます!

会場内でのお買い物やイベントに参加される際は、「イーゴ券」が必要となります。

前　売　2,000円（1イーゴ20枚綴り・ハッピー・チャンス!!くじ引き券1枚付き）
当日売　1,000円（1イーゴ10枚綴り・ハッピー・チャンス!!くじ引き券なし）

プログラム ●開会式 ●オープニングパレード ●公開講座 ●青山寄席 ●ゴールデン&シルバージュビリー記念式典・懇親会 ●出店 ●教室イベント ●陸上競技部応援ステージ ●オール青山同窓会／初等部同窓会くすのき会 お餅つき ●ふわふわイーゴくん ●ポニー乗馬 他

公開講座

会場 17号館

各学部学科同窓会などが主催する特別講義です。学生時代に戻って懐かしい教室でアカデミックなひとときを!

第1部 11:00～12:30

英米文学科「グローバル化社会における小学校英語教育」
講師：Allen 玉井 光江(本学文学部 英米文学科教授)

中等部緑窓会「シミ・シワ、AGA(男性型脱毛)からアトピー性皮膚炎、ニキビまで、最近の皮膚治療あれこれ」
講師：植村 功(校友／医師)

第2部 13:00～14:30(神学科13:30～)

神学科「東北アジアにおける平和を求めて」
講師：田中 良子(校友／日本友和会前理事長)

フランス文学科「短編アニメーション『つみきのいえ』がアカデミー賞を受賞して」
講師：平田 研也(校友／脚本家)

史学科「明治維新と近代国家建設の葛藤」
講師：小林 和幸(本学文学部 史学科教授)

青山学院大学経済学部同窓会・経済学会共催 特別記念公開講演会

平成のご意見番が、いまを斬る!「トランポノミクスとアベノミクス」(仮題)

講師 浜(はま) 矩子(のりこ)氏 同志社大学大学院ビジネス研究科教授　**時間** 14:00～15:30　**教室** 17号館5階17511教室

青山学院大学同窓祭(AOYAMA GREEN FESTIVAL)の詳細はウェブサイトをご覧ください!
http://aogaku-doso.jp/

問い合わせ先▶青山学院大学同窓祭実行委員会事務局
[月・水・金 10:00～16:00]　TEL：03-3409-8990
※祝日を除く

主催：青山学院校友会大学部会　協力：青山学院校友会、女子短期大学同窓会、高等部同窓会、中等部緑窓会、初等部くすのき会、幼稚園いとすぎの会

Club & Circle 36 レスリング部

チーム一丸となって選手を応援し、得る勝利。

レスリング部は現在、男子17名、女子7名の合計24名の部員で、週に6日、朝と午後を合わせて10回練習を行っています。これまでにも多くの全日本大学チャンピオンを輩出しています。昨年の「天皇杯 全日本選手権大会」では準優勝と3位、「全日本学生選手権大会」では優勝や準優勝などの成績を収めました。

レスリングは個人競技ですが、リーグ戦の団体戦でチーム一丸となって選手を応援し、勝利したときが一番嬉しく、心に残っています。入部する前は、大学の部活で、レスリングの技術を向上させることは難しいのではないかと思っていました。しかし入部すると、監督やコーチの丁寧な指導で、今は技術が向上することの楽しさも感じています。

練習ではオリンピック出場経験のある本学職員、長谷川恒平コーチが指導してくださいます。身近に元オリンピック選手がいることを感じながら、日々練習できることも魅力です。

(主務：社会情報学部 社会情報学科3年　岩﨑 理栄　記)

AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内専用スタンドにて配布しています。

●バックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
●確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、**学生本人が変更手続きをしてください。**

発行元：青山学院大学 政策・企画部
TEL：03-3409-8159

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2017青山学院大学

●2017年7月31日発行●